**第１０回市民講座　「戦争は教室の中から」**

**１２月１６日（土）14：00～16：30　ムーブ大セミナールーム**

**1　基調講演**

**俵義文氏（子ども教科書全国ネット21事務局長）**

**安倍「教育再生」政策は子どもたちをどこに導くか**

はじめに　グローバル企業と「戦争する国」の「人材」をつくる安倍「教育再生」

1　「愛国心」など特定の価値を子ども・教育に押しつける道徳の「教科化」

2　2017年小学校道徳教科書の採択

3　道徳教育は、個人の尊厳を基本に一人ひとりの子どもたちの人格の完成をめざす

4　大問題！子ども不在の新学習指導要領

5　家庭教育支援法案の危険なねらい

6　安部政権「教育再生」政策に反対する大きなたたかいを地域から全国へ

**2　地元からの報告**

**牟田口カオル氏（子どもの教科書を読む会）**

**「道徳教科書採択に向けての取り組み」**

* 「子どもの教科書を読む会」の活動
* 北九州市おける教科書採択の実際
* 市教委に対する取り組みを通して

**三浦日佐代氏（北九州子どもと教育のために手をつなぐ会）**

**「職業・労働教育とは」**

* 「職業・労働教育」は生きることの根本を考える教育である。人間として生きること、働くこと、家族を形づくっていくことなどに関して、今までにない困難に直面している若者たちを教育の力で支えていく義務が私たちにはある。
* 労働は自律的生存のためのただ一つの手段であり、人格形成に寄与し幸福を追求する手段でもあり、自己実現を追求する活動である。その労働が今、危うい時代になっている。すべての生徒に職業・労働教育が実施される教育システムを実現する改革や実践を進めていく必要がある。